

教育目標：○思いやりのある子○すすんで学ぶ子○力を合わせる子 ○元気な子

めざす学校像：○確かに学ぶ学校○安全・安心な学校○未来を創る学校○ともにある学校

めざす児童・生徒像：○主体的に学び、自らの力を高め伸す子○自他を大切にし、心豊かに他者と協働する子 ○心身ともに健康に生活する子

めざす教師像：○学校の役割を十分に理解し、家庭・地域と連携して教育活動に貢献する教職員○心身ともに健康な教職員

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標評価				成果指標評価			
				基準		基準		基準		基準	
				中間	最終	中間	最終	中間	最終	中間	最終
確かに学ぶ学習指導	◆基礎的・基本的知識及び技能を確実に習得させる。 ◆主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を推進する。 ◆カリキュラム・マネジメントを推進するとともに、多様な人々と協働しながら課題解決を図る学習を充実させる。	○基礎的・基本的知識及び技能を確実に習得させる。 ○個に応じた指導、互いに学び合い、高め合う指導、タブレット型PCの利活用を推進・充実させる。 ○体験的・協働的な学習、探究的な学習を推進する。	・「主体的・対話的で深い学び」、「分かりやすい授業」を推進し、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る。	○	○	4 全教員が実施	○	4 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が80%以上	○	4 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が70%以上	
			・タブレット型パソコンの利活用、ICT機器等を効果的に活用した分かりやすい教材の提示により、「分かる・できる・つながる授業」を展開する。外国語、算数習熟度別指導など個に応じた丁寧な指導を行う。	○	○	3 90%以上の教員が実施	○	3 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が70%以上	○	3 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が60%以上	
			・「習得・探究・活用」「問題解決」の学習過程を取り入れた授業、生活科や総合的な学習の時間を中心とした人的・物的資源を生かした協働学習を行う。	○	○	2 80%以上の教員が実施	○	2 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が60%以上	○	2 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が60%未満	
安全・安心な生活指導	◆規範意識の醸成と他者を大切にすることを言葉や態度(挨拶・礼儀)で表すことができるようにする。 ◆いじめや差別、体罰を絶対に許さないなど、全教育活動を通じた人権を尊重した教育活動を推進する。 ◆安全教育の推進に取り組む。 ◆教材・教具、校内環境の美化・整備を適切に行い、教育環境を安全に整える。	○基本的な生活習慣や集団生活をする上でのルールの徹底を図る。 ○自他の心身を大切にするための判断力・行動力を身に付けさせる。 ○いじめ防止・不登校対策の充実と徹底を図る。 ○保護者や地域、関係諸機関と連携した安全教育の取組を行う。	・「十小のきまり」「10の約束」の指導の徹底を家庭と連携して行う。 ・挨拶や相手を大切にすることを身に付けさせる。	○	○	4 全教員が実施	○	4 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が80%以上	○	4 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が70%以上	
			・組織的にいじめ防止に取り組む。毎月、笑顔チェックカードにより児童の様子を把握し、SOSを見逃さないよう細心の注意を払う。 ・「ふわふわ言葉」を推奨し、暴力や暴言を許さない。体罰防止に努める。	○	○	3 90%以上の教員が実施	○	3 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が70%以上	○	3 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が60%以上	
			・様々な場面において、「想像する」「行動する」の習慣化を図り、思いやる心や危険を予測し回避する力を養う。また、家庭・地域と連携した安全教育に取り組む。 ・学校環境を安全に整え、安全指導や避難訓練の充実を図る。	○	○	2 80%以上の教員が実施	○	2 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が60%以上	○	2 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が60%未満	
未来を創る豊かな心・たくましい体	◆困難なことにも立ち向かい、様々な人と協働し、課題を解決していくことができるたくましい心と体を育成する。 ◆自分のよさや可能性を伸ばし、生き方について考えを深めたり、自分の夢や希望を大切にしたりすることができるようキャリア教育を推進する。 ◆家庭との連携を図り、生涯にわたって運動に親しみ、健康な体を維持していこうとする態度を培う。	○特別支援教育や多様性・人権教育の学習を充実させる。 ○キャリア教育の推進し、自分のよさ・生き方について考える機会を設けたり、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を身に付けさせる。 ○音楽・造形活動を通し、豊かな情操を養う。 ○「体力の向上」「食」の大切さを理解し、健康な生活を送ることができるようにする。	・スクールカウンセラーや特別支援教室の巡回指導教員等と連携し、発達障害や多様性への理解を深めたり、道徳教育・人権教育の指導を充実させる。	○	○	4 全教員が実施	○	4 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が80%以上	○	4 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が70%以上	
			・ゲストティーチャーによる授業や自分のよさや協働するよさを感じる授業を充実させ、キャリア教育を推進する。 ・音楽や発表など表現する機会を積極的に設けるとともに、学級活動、委員会活動を充実させ、児童の自主的な活動を推進する。	○	○	3 90%以上の教員が実施	○	3 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が70%以上	○	3 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が60%以上	
			・「ココディネーショントレーニング拠点校としての活動や「楽しみながら運動に親しむ機会」の日常化に取り組む。また、元気チェックカードの活用や栄養士と連携した食育を充実させ、健康な心身を培っていこうとする意識を高める。	○	○	2 80%以上の教員が実施	○	2 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が60%以上	○	2 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が60%未満	
家庭・地域ともにある学校	◆保護者・地域に学校運営について分かりやすく情報を発信する。 ◆教育活動の充実・改善のために、内部評価・外部評価を生かす。 ◆保護者や地域の願いを共有し、「開かれた学校づくり」に取り組む。 ◆家庭・地域と連携して教育活動を充実させる。	○児童の学校生活や取組の様子がよく分かるよう学校だよりや学校ブログを充実させる。 ○学校運営協議会委員・保護者・教職員・児童を対象とした学校評価を実施し、PDCAサイクルによる改善を図る。 ○保護者・地域と協働し、「チーム十小」として、教育活動を充実させる。	・学校ホームページ、学校ブログでは、教育活動の様子を適宜発信する。学校だより、緊急メール等は、情報を分かりやすく伝える。	○	○	4 全教員が実施	○	4 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が80%以上	○	4 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が70%以上	
			・学校公開や行事等は、社会の状況に合わせて適切な環境のもと実施する。また、各行事実施後のアンケート結果を発信するとともに、次年度に生かすよう改善策を提示する。	○	○	3 90%以上の教員が実施	○	3 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が70%以上	○	3 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が60%以上	
			・教職員は、児童が安心して通学できるよう日常の連絡などを丁寧に行い、保護者とともに児童の成長を支える。 ・「学習ボランティア」として保護者や地域人材の教育活動への参画を進める。	○	○	2 80%以上の教員が実施	○	2 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が60%以上	○	2 児童・保護者アンケート等で肯定的評価が60%未満	